

知って得する

お歯なしシリーズ



今回のテーマ：「赤ちゃんとおっぱい」

はじめまして！ 小山和彦です。これから1年に渡って、
歯科医師の私が知る楽しいお話を毎月紹介していきます。
第1回目は「赤ちゃんとおっぱい」です。



口の機能発達に大切
乳児期の「吸う」行為

生まれたばかりの赤ちゃんは、大きな声で泣くだけでママのおっぱいすら上手に飲むことができません。

それはママと赤ちゃん両者の不慣れも原因ですが、特に赤ちゃんは今まで経験したことのない「吸う」という行為に戸惑うからです。

ママの乳首や哺乳瓶を「吸う」ことは、赤ちゃんが生きていくために必要不可欠な本能でしょう。だから最初は「ベタッピ」でも、まさに命がけて上達していきます。ちっちゃな赤

ちゃんが全身の神経をその舌先に集中させて、乳首に吸いつき離さないように注意深く啜（くわ）える…生きることへの素晴らしい執念です。

この「吸う」という動作によって、お口の周りのあらゆる筋肉（頬・顎・唇・舌）が刺激され成長し、やがて笑う、噛む、話すというように機能はどんどん向上していきます。

「赤ちゃんのお口」は、生命の礎とも呼べる大切な機能です。



歯学博士

小山和彦

浜松市中区佐鳴台1-12-8

☎ 053-452-0520(代表)

<http://www.haishade.com>